

平成 21 年 8 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社ビーアイジーグループ  
本店所在地 東京都港区南青山三丁目 3 番 3 号  
代 表 者 代表取締役社長 青山 洋一  
(コード番号) 9 4 3 9  
お問合せ先 取 締 役 井谷 浩二  
(T E L) 0 3 - 5 4 1 1 - 7 2 2 2

### 営業外費用、特別損失の発生及び平成 21 年 6 月期 通期業績予想（連結・個別）の修正に関するお知らせ

当社は、平成21年8月14日開催の取締役会において営業外費用及び特別損失を計上することを決議いたしましたので、その概要をお知らせするとともに、平成21年6月期（平成20年7月1日～平成21年6月30日）の連結業績予想については平成21年2月9日に「平成21年6月期第2四半期累計期間（連結）業績予想との差異及び通期（連結）業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想を、個別業績予想につきましては平成20年8月28日に当社「平成20年6月期決算短信」にて公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 営業外費用、特別損失の発生及びその内容

##### (1) 営業外費用の計上

当社が出資している投資事業組合において棚卸資産の評価に関する会計基準が適用されたこと等により、当社持分相当額が減少し、連結財務諸表及び個別財務諸表におきまして投資事業組合運用損として180百万円を営業外費用として計上することといたしました。

##### (2) 特別損失の計上

当社は、連結子会社である株式会社ジョリーブティックの業績及び財務状態を検討した結果、平成21年6月期において債務超過の状態であり、現在の関係会社株式の簿価と純資産価額は著しく乖離しており、短期的な純資産価値の回復は困難であり、投資回収は長期にわたることから、個別財務諸表において関係会社株式1,511百万円のうち評価損として1,511百万円を計上することといたしました。なお、連結財務諸表におきましては、平成18年6月期に同社にかかる「のれん」を一括償却しておりますので連結財務諸表に与える影響はございません。

また、本日開催の取締役会におきまして株式会社ジョリーブティックの全株式を譲渡することを決議しており、このグループ再編に伴い、当社グループは平成22年6月期より美容室運営事業を中心とした事業展開を図ってまいります。それに伴い、株式会社エム・エイチ・グループをはじめとする美容室運営事業にかかる「のれん」につきましては、従来、当該事業の超過収益力として資産計上しておりましたが、再編後のグループ全体の超過収益力に見合う評価を行い、連結財務諸表におきまして減損損失1,132百万円を特別損失として計上いたしました。また、個別財務諸表におきましては、関係会社株式評価損として1,262百万円を特別損失として計上いたしました。

以上、連結財務諸表におきまして「のれん」の減損損失1,132百万円、個別財務諸表におきまして関係会社株式評価損2,773百万円を特別損失として計上いたしました。

## 2. 平成21年6月期連結業績予想の修正等

### (1) 平成21年6月期連結業績予想の修正（平成20年7月1日～平成21年6月30日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	2,500	△175	△175	△315
今回修正 (B)	2,519	△129	△310	△1,677
増減額 (B-A)	19	46	△135	△1,362
増減率 (％)	0.76	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年6月期)	2,990	△325	△348	△637

### (2) 修正理由

当連結会計年度におきまして、世界的な信用収縮と金融危機が本格化したことで個人消費の減退などの影響を受けましたが、売上高は概ね順調に推移し、前回予想と比べ19百万円増加の2,519百万円となりました。

営業利益につきましては、のれん償却額145百万円を計上したものの、「美容室運営事業」「ITアパレルブランド事業」の両事業の原価、販売費及び一般管理費につきましては見直しと削減を図った結果、前回予想と比べ46百万円増加の△129百万円となりました。

経常利益につきましては、1. 営業外費用、特別損失の発生及びその内容（1）営業外費用の計上に記載のとおり、投資事業組合運用損180百万円等を計上したことにより、前回予想と比べ135百万円減少の△310百万円となりました。

当期純利益につきましては、1. 営業外費用、特別損失の発生及びその内容（2）特別損失の計上に記載のとおり、減損損失1,132百万円等を計上したことに伴い、前回予想と比べ1,362百万円減少の△1,677百万円となりました。

## 3. 平成21年6月期個別業績予想の修正等

### (1) 平成21年6月期個別業績予想の修正（平成20年7月1日～平成21年6月30日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	50	△200	△200	△200
今回修正 (B)	47	△186	△373	△3,222
増減額 (B-A)	△3	14	△173	△3,022
増減率 (％)	△6.00	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年6月期)	119	△140	△178	163

### (2) 修正理由

当事業年度におきまして、売上高は概ね順調に推移し、前回予想と比べ3百万円減少の47百万円となりました。

営業利益につきましては、販売費及び一般管理費の削減効果により、前回予想と比べ14百万円増加の△186百万円となりました。

経常利益につきましては、1. 営業外費用、特別損失の発生及びその内容（1）営業外費用の計上に記載のとおり、投資事業組合運用損180百万円等を計上したことにより、前回予想と比べ173百万円減少の△373百万円となりました。

当期純利益につきましては、1. 営業外費用、特別損失の発生及びその内容（2）特別損失の計上に記載のとおり、関係会社株式評価損2,773百万円等を計上したことに伴い、前回予想と比べ3,022百万円減少の△3,222百万円となりました。

以上